

参 考 資 料

- 参 - 1 平成20年度の完成予定区間(箇所)
- 参 - 2 平成20年度 完成予定区間の概要
 - 北関東自動車道 桜川筑西IC ~ 笠間西IC
 - 横浜横須賀道路 馬堀海岸IC(仮称) ~ 佐原IC
 - 首都圏中央連絡自動車道 阿見東IC ~ 江戸崎IC(仮称)
 - 磐越自動車道(拡幅) いわきJCT ~ いわき三和他2区間
- 参 - 3 道路管理に関するアウトカム指標
- 参 - 4 NEXCO東日本 管内図

< 新規開通区間 >

路線名	道路名	区 間	延長	備 考
高速自動車国道				
北関東自動車道	北関東自動車道	桜川筑西IC ~ 笠間西IC	8.9 km	
一般有料道路				
一般国道16号(横浜横須賀道路)	横浜横須賀道路	馬堀海岸IC ~ 佐原IC	4.3 km	
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)	圏央道	阿見東IC ~ 江戸崎IC	6.0 km	

印の施設名称は仮称です。

印の施設名称は道路標識適正化委員会から伝達された名称案です。

< 拡幅等完成予定区間(箇所) >

路線名	道路名	区 間	延長	備 考
拡幅(4車線化)等				
東北横断自動車道いわき新潟線	磐越自動車道	いわきJCT ~ いわき三和IC	4.1 km	
		差塩PA ~ 小野IC	7.2 km	
		船引三春IC ~ 郡山東IC	4.9 km	
一般国道127号(富津館山道路)	富津館山道路	富浦IC ~ 鋸南富山IC	-	付加車線
インターチェンジ・ジャンクション・サービスエリア・パーキングエリアの改築				
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)	圏央道	狭山PA	-	
一般国道14号(京葉道路)	京葉道路	幕張PA	-	
東関東自動車道水戸線	東京外環自動車道	三郷JCT(一次改築)	-	
東北縦貫自動車道弘前線	東北自動車道	黒磯IC	-	

平成20年度 完成予定区間の概要(1)

[北関東自動車道 桜川筑西IC ~ 笠間西IC]

NEXCO

開通区間 北関東自動車道 桜川筑西IC ~ 笠間西IC

延長 8.9 km

幅員及び車線数 3.5 m × 4車線

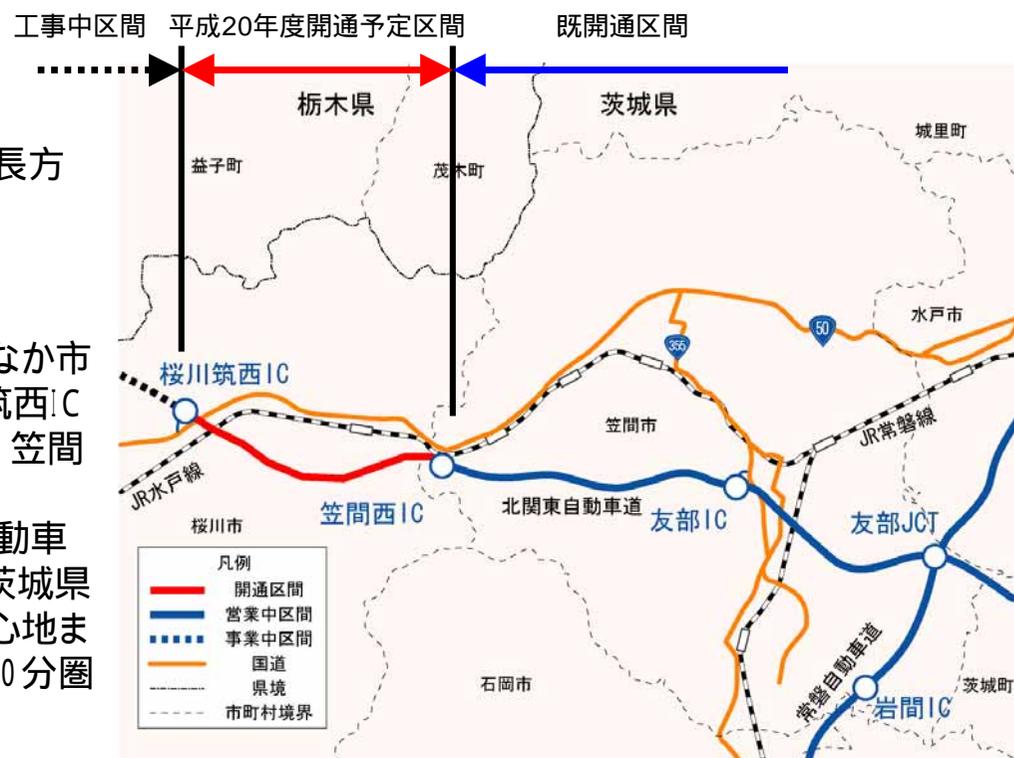
設計速度 100 km / h

インターチェンジ等 1箇所
・桜川筑西IC 茨城県桜川市長方
(一般国道50号線に連結)

路線概要

北関東自動車道は、群馬県高崎市から茨城県ひたちなか市に至る延長約150 kmの高速道路です。このうち、桜川筑西IC ~ 笠間西IC間(L = 8.9 km)は、茨城県西部の桜川市、笠間市を通過しています。

今回の開通により、総延長は107 kmとなり、北関東自動車道全体の7割が完成します。その結果、これまでに比べ茨城県西部での国道50号へのアクセスが格段に向上し、県中心地までの移動時間が短縮されることや、高度医療機関への30分圏域が拡大されるなどの効果が期待されます。



平成20年度 完成予定区間の概要(2)

[横浜横須賀道路 馬堀海岸IC ~ 佐原IC]

NEXCO

開通区間 横浜横須賀道路 馬堀海岸IC ~ 佐原IC

延長 4.3 km

幅員及び車線数 3.5 m × 2車線

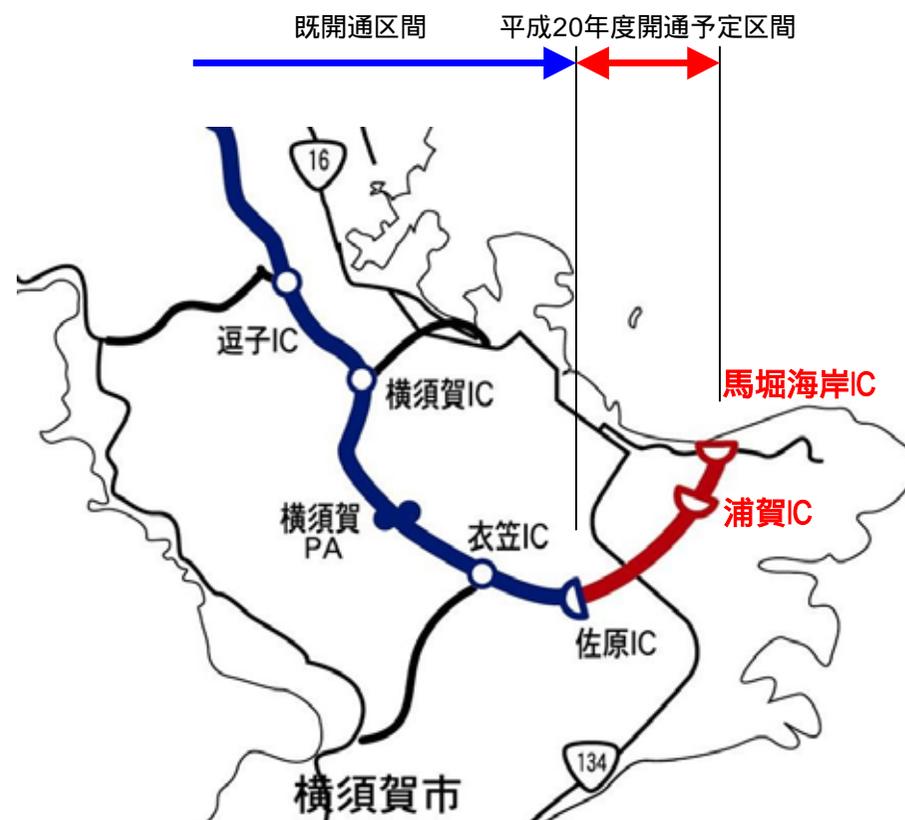
設計速度 80 km / h

インターチェンジ等 2箇所
 ・浦賀IC 神奈川県横須賀市
 (県道浦賀港線に連結)
 ・馬堀海岸IC 神奈川県横須賀市
 (一般国道16号に連結)

路線概要

横浜横須賀道路は、三浦半島の基幹道路としての役割を担い狩場IC ~ 佐原IC間(L = 28.4 km)、釜利谷JCT ~ 並木IC間(L = 4.2 km)が既に開通しています。

今回の開通により、既供用区間の機能の強化、一般国道16号バイパス機能の完成、端末の佐原ICに集中する交通の分散が図られ、横須賀市域における現道交通の渋滞緩和や沿道環境の改善が期待されています。



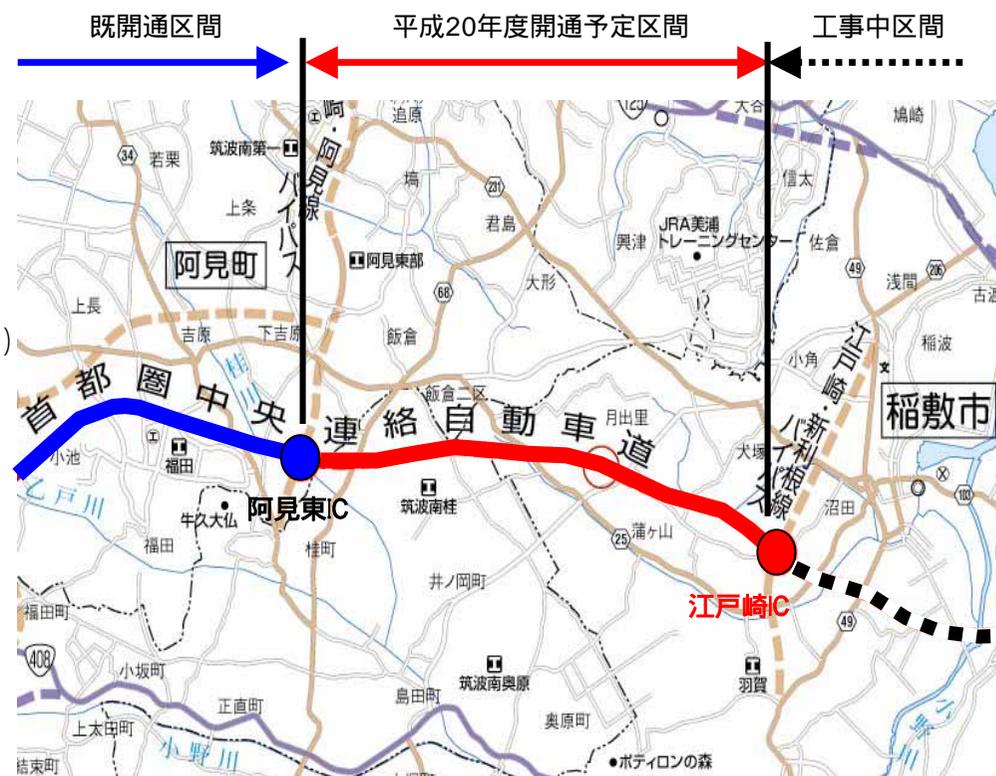
印の施設名称は道路標識適正化委員会から伝達された名称案です。

開通区間	圏央道 阿見東IC ~ 江戸崎IC
延長	6.0 km
幅員及び車線数	3.5 m × 2車線(暫定)
設計速度	100 km / h
インターチェンジ等	1箇所 ・江戸崎IC 茨城県稲敷市沼田 (県道江戸崎・新利根線バイパスに連結)

路線概要

首都圏中央連絡自動車道は、都心からおよそ40～60 kmの位置に計画されている、総延長約300 kmの高規格幹線道路(自動車専用道路)です。このうち、阿見東IC ~ 江戸崎IC (L = 6.0 km)は、茨城県南部の阿見町、稲敷市を通過しています。

今回の開通により、つくば～成田等のアクセスが向上し、国際物流の増進や工業、観光などの地域産業の振興に大きく寄与します。



印の施設名称は仮称です。

平成20年度 完成予定区間(4)

[磐越自動車道(拡幅) いわきJCT~いわき三和IC他2区間]



開通区間	磐越自動車道(拡幅)	いわきJCT ~ いわき三和IC	4.1km
及び延長		差塩PA ~ 小野IC	7.2km
		船引三春IC ~ 郡山東IC	4.9km

車線数 2車線を4車線に拡幅
 設計速度 80km/h
 インターチェンジ等 -

路線概要

磐越自動車道のいわきJCT~郡山JCT間は、太平洋側のいわき市を中心とする福島県浜通り地方と、内陸部の郡山市、福島市を中心とする中通り地方を連結し、地域経済の発展に寄与するとともに、常磐道と東北道を連結する高速道路ネットワークを構成し、災害時の代替路線としてダブルネットワーク機能の一端を担っています。

同区間は、平成7年に暫定2車線で開通、平成11年から4車線化に着手し、これまでに約77%の4車線化が完成しています。

今回の3区間の完成により、いわきJCT~郡山JCT間(L=71.4km)全てが4車線となり、混雑期(夏休み、行楽シーズン等)の交通集中による渋滞解消が図られ、より円滑で快適な走行が可能となります。

平成20年度完成予定区間



より効果的、効率的に事業を執行するための、渋滞の緩和・解消といった事業の実施により、発生する効果や成果(アウトカム)を表す指標や事業量の数値目標は、以下のとおりです。

アウトカム指標数値目標	定 義	H19年度(見込値)	H20年度(目標値)
本線渋滞損失時間	本線渋滞 ¹ が発生することによる利用者の損失時間 ²	426万台時間/年 ³	426万台時間/年
路上工事による車線規制時間	道路1kmあたりの路上作業に伴う年間の交通規制時間	66時間/(km・年) ⁴	61時間/(km・年) ⁴
ETC利用率	ETC導入済み料金所におけるETC利用者の割合	69% ⁵	70%
死傷事故率	走行車両1億台キロあたりの死傷事故件数 ⁶	11.0件/億台キロ	11.0件/億台キロ
舗装保全率	舗装路面の健全度 ⁷ を表す車線の延長比率	89%	92%
橋脚補強完了率	古い基準を適用した橋梁で、耐震補強を必要とする橋脚のうち、補強が完了している橋脚基数の割合	85% ⁸	91%
利用時間確保率(営業率)	道路が利用可能な時間 ⁹ の比率	99.8% ¹⁰	99.5%
顧客満足度	CS調査等で把握する維持管理に関するお客さまの満足度(5段階評価)	3.6	3.6
高機能舗装率	高機能舗装整備延長の割合	59%	63%
強化型防護柵整備率	古い基準を適用した防護柵で、強化型防護柵を必要とする防護柵延長のうち、強化型に整備している防護柵延長の割合	87%	90%
ETC停止処理率	カード挿し忘れ等のトラブルにより、ETC車が専用レーンで停止する割合	0.17%	0.16%

1 高速道路では、時速40km以下で低速走行あるいは停止・発進を繰り返す車列が1km以上かつ15分以上継続した状態をいいます。

2 損失時間は、渋滞通過のために生じた遅れ時間を、法定速度と渋滞時の平均走行速度(25Km/h)の差で算定した時間と影響台数で積算した年間総損失時間をいいます。渋滞損失時間は、1～12月までの暦年の損失時間を示しています。

3 平成19年の本線渋滞損失時間は、渋滞対策事業による減少の他に、事故渋滞などが例年より減少したため、目標値より大きく減少しました。

4 新潟県中越沖地震の災害復旧事業に関わる車線規制時間は、含まれていません。

5 年度末月の平均利用率(台数の割合)を示しています。収入に占めるETC利用の割合はH20.1平均で75.5%(概略試算値・高速道路のみ)となります。

6 会社が管理する道路のうち一部の道路は除かれています。また、2つの会社にわたる道路については走行台キロ比で事故件数を按分しています。死傷事故率は、1～12月までの暦年の事故率を示しています。

7 舗装の健全度とは、概ね5年以内には舗装補修を必要としない状態をいいます。

8 補強対象橋脚の工事契約率は100%です。

9 降雨、降雪に因る通行止め(災害、地震等を除く)と、事故や工事による通行止時間を除く、通行可能な時間をいいます。利用時間確保率は、1～12月までの暦年の確保率を示しています。

10 平成19年の利用時間確保率は、雪に起因した通行止が例年より減少したため、目標値より大きく向上しました。

NEXCO東日本 管内図

凡例

- 高速自動車国道(供用中)
- 高速自動車国道(新直轄)(供用中)
- - - - 高速自動車国道(事業中)
- 高速自動車国道(新直轄)
- 一般有料道路(供用中)
- - - - 一般有料道路(事業中)
- 一般有料道路(直轄事業中)
- 中日本高速道路(株)
高速自動車国道(供用中)
- - - - 中日本高速道路(株)
一般有料道路(事業中)

